

学生のアウトリーチにおける学び

—「表現教育」こどもフェスタを通して—

つくる あそぶ まなぶ

“大学の授業を地域に拓く”ことを目的に、20年間継続してきたフレンドシップ事業において、授業「表現教育」では、学生が子どもに楽しんでもらうために、『こどもフェスタ』を企画、実施します。大学祭にて子どもたちに遊んでもらい、表現することの楽しさを子どもたちに伝える活動の中で、学生自らも学びを得る「双方向アウトリーチ」の試みです。

この2年間は新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインにて動画公開という形で開催しましたが、今年度は対面と動画公開の両方実施しました。学生は班ごとに子ども向けのイベントと動画を制作し、大学祭での対面とホームページでの動画配信の両方で子どもたちと接することができました。

企画・準備段階での協働で、子どもと接する中で、参加者のアンケート結果から、学生にとって様々な学びがありました。

主な班の活動内容

「海の生き物水族館」

- 対面：海の生き物釣り
- ◆動画：折り紙の折り方



- ・ クリップで釣るタイプとマグネットでくっつけて釣るタイプと難易度の違う2種類を用意した。
- ・ 動画では、折紙で海の生き物を折る折り方説明をした。

「ドラゴンを倒せ！」

- 対面：ドラゴンを倒すための剣を作る
- ◆動画：ゲームのやり過ぎでゲームの中に閉じ込められた！ドラゴンを倒して元の世界に戻ろうというストーリー



- ・ 対面、オンラインどちらでも楽しんでもらえるように、子どもに身近なゲームをテーマに体験型のストーリーにした。

- ・ 最初の形づくりから、飾りだけ、と年齢に合わせて一緒につくった。



「クリスマス絵描き歌」

- 対面：サンタさんとトナカイさんのお手伝いで絵描き歌や工作をする
- ◆動画：物語に沿って絵描き歌やクイズに答える



- ・ 対面では着ぐるみを着て楽しい雰囲気を出した。
- ・ 動画では子どもたちが見やすいように絵やイラスト、図形を多めにし、場面ごとに効果音を使用。

「これな〜んだクイズ」

- 対面：箱の中身当てクイズ
- ◆動画：音当てクイズ



- ・ 箱を装飾したり、看板をつくって、子どもの興味をひけるようにした。
- ・ 動画では、子どもに馴染みのある物の音を使い、3択クイズにした。

「工作マジック」

- 対面：一緒にマジックの仕掛けを作りマジックをやってみる
- ◆動画：マジックの仕掛けのつくり方をわかりやすく説明



- ・ 初めにマジックを見せて興味を持ってもらった。
- ・ 年齢によって選べるように難易度の違う4種類のマジックを用意した。



- ・ 動画では、身の回りにあるもので作れるようにし、説明はできるだけゆっくりした。

「カシワラのダンス隊」

- 対面：動物に扮した学生と一緒にストーリーに沿ってダンスを踊る
- ◆動画：ブレーメンの音楽隊をオマージュ

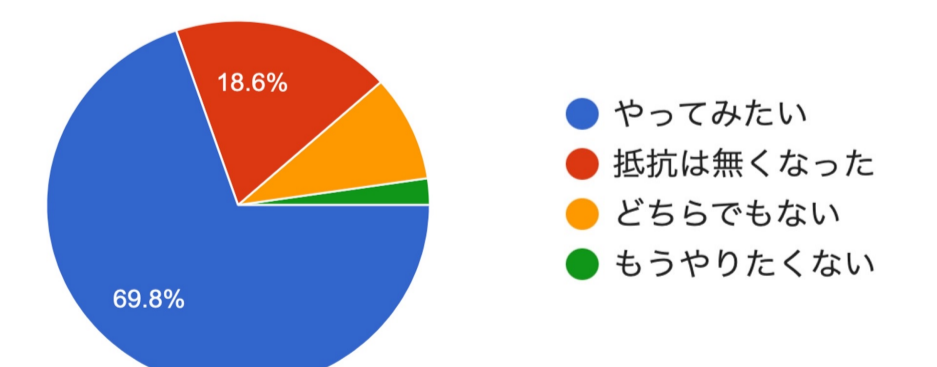


- ・ それぞれの動物らしい、小さな子どもでも踊りやすい振り付けにした。
- ・ 動画では、分かりやすい台詞で、シンプルなストーリーにした。

学生の学び

- ・ 活動を通じた他学生との協働とアクティブラーニングの成立
- ・ 子どもの視点を知るという子ども理解
- ・ 動画を制作する過程で得たICTのスキルやオンラインでのコミュニケーション能力の向上

授業後のアンケートより



Q 将来、教師としてオンラインでの授業やICTを活用した授業をすることに関して興味が増えましたか？

参加者の声

- ・ いろいろなお兄ちゃんお姉ちゃんがいて、親切に教えてくれたから楽しかった。(対面・子ども)
- ・ 小さい子どもにも優しく声かけをしてくれてうれしかったです。(対面・保護者)
- ・ こんなビデオをもっとみてみたい。マジックでそんなことをかんがえれたのがすごかった。(動画・子ども)
- ・ 娘が海の生き物折り紙の動画をスロー再生しながら、折り紙を黙々と折っていました。(動画・保護者)

動画配信中！



<https://www.osaka-kyoiku.com>